

# 家下川本川の合流部矢板処理箇所(11月26日)

昨日の雨で水位が上昇(岩津で約60cm高)



# 家下川本川の合流部矢板の経緯

2012. 10. 24撮影 (岩津水位0. 20m)



2013. 1. 23撮影 (岩津水位-0. 03m)



2013. 3. 26撮影 (岩津水位-0. 07m)



2013. 11. 26撮影 (岩津水位0. 37m)



# 矢作川樹木処理工事の進捗状況(上佐々木地区)

上佐々木地区(20k)施工前の状況



上佐々木地区(20k)施工中の状況



竹の伐採中の状況 1



竹の伐採中の状況 2



竹の伐採中の状況 3

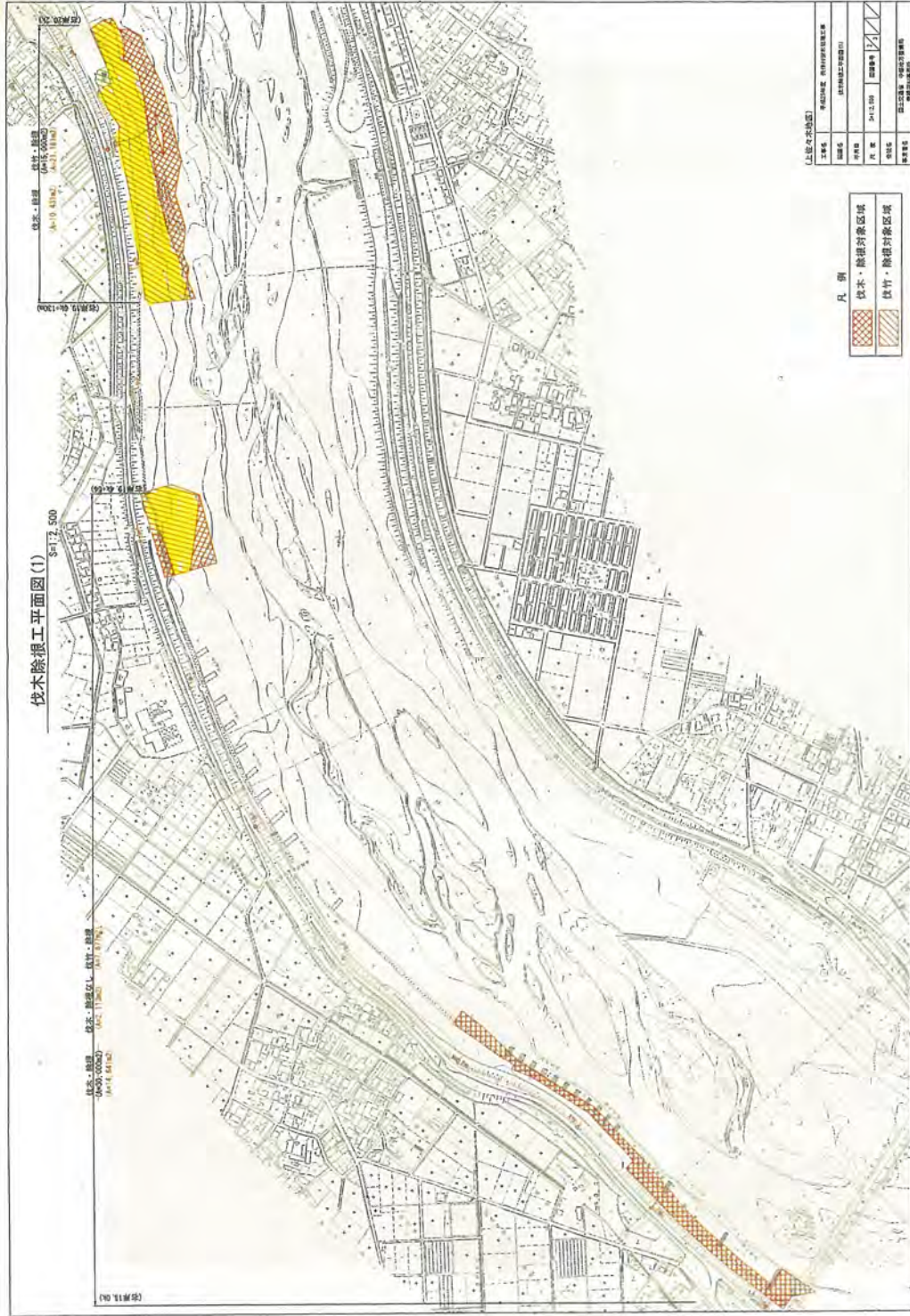


伐木除根工平面圖(1)

計畫、設計  
圖號: A10-0142  
M44, M42

S:1:2,500

計畫、設計  
圖號: A10-0142  
M44, M42



(上段文字參閱)

圖例	說明
圖例 1	伐木、除根對象區域
圖例 2	伐竹、除根對象區域

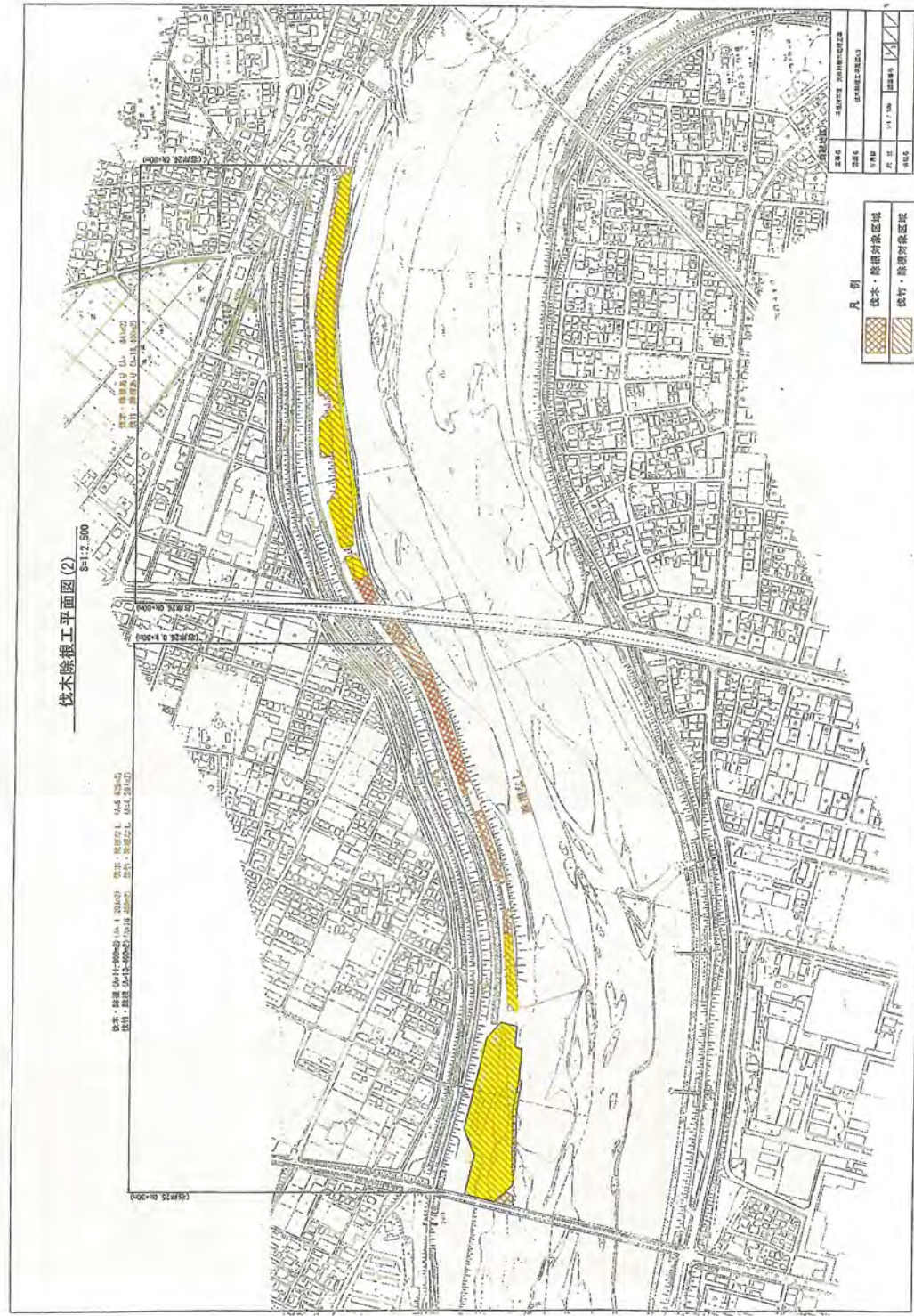
凡例

圖例 3	伐木、除根對象區域
圖例 4	伐竹、除根對象區域

伐木除根工平面圖(2)

計畫、設計  
圖號: A10-0142  
M44, M42

S:1:2,500



圖例	說明
圖例 1	伐木、除根對象區域
圖例 2	伐竹、除根對象區域

凡例

圖例 3	伐木、除根對象區域
圖例 4	伐竹、除根對象區域

# 矢作川渡合護岸補修工事の進捗状況

上流工区の施工状況(捨て石工)



下流側工区の施工状況(工事は未実施)



瀬替え箇所(上流部の状況)



瀬替え箇所(中間部の状況)

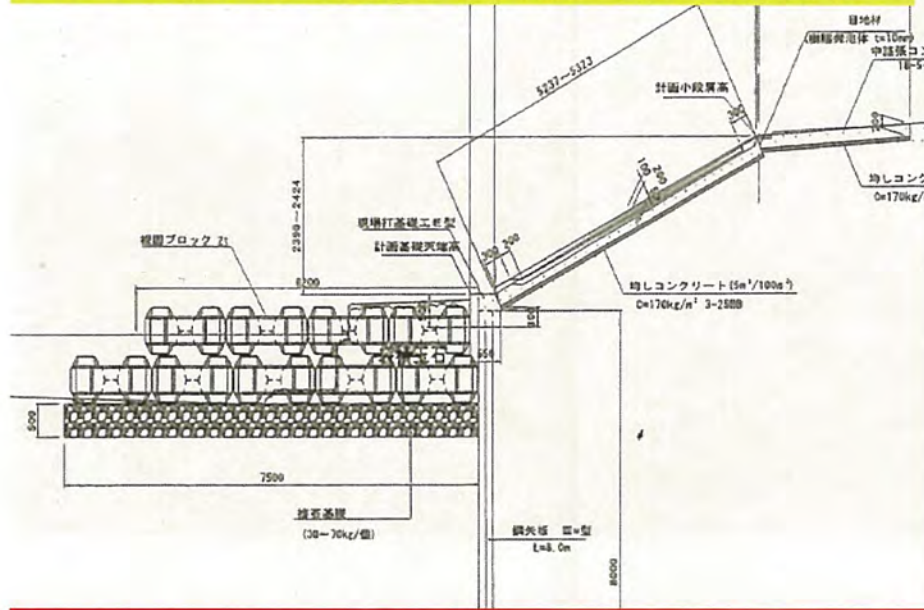


瀬替え箇所(下流部の状況)

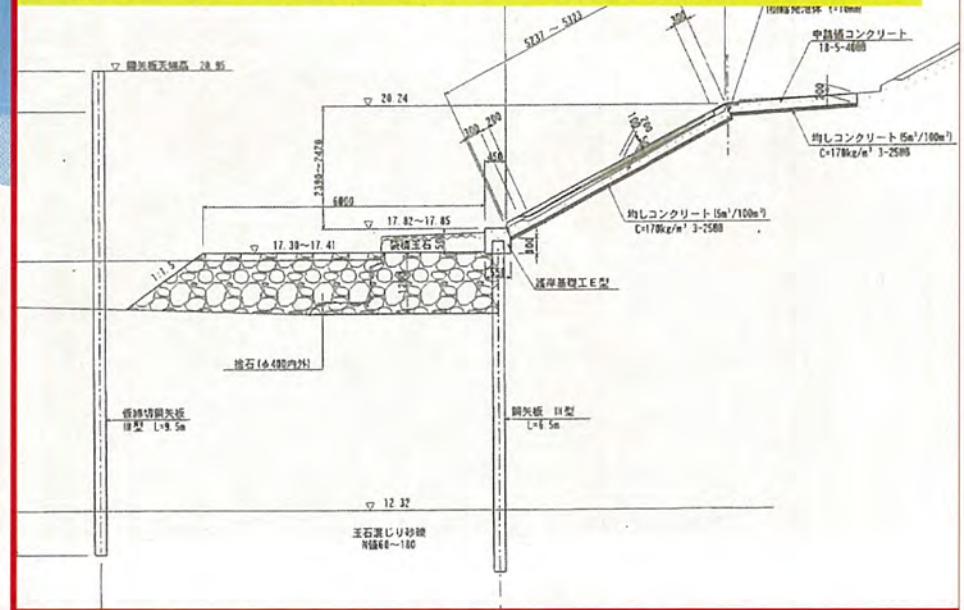


# 矢作川幸町護岸補修工事の進捗状況

ブロックによる根固工の施工断面(当初)



捨て石工による根固工の施工断面(当初)



仮設工の締切り矢板施工中



施工箇所を下流から撮影



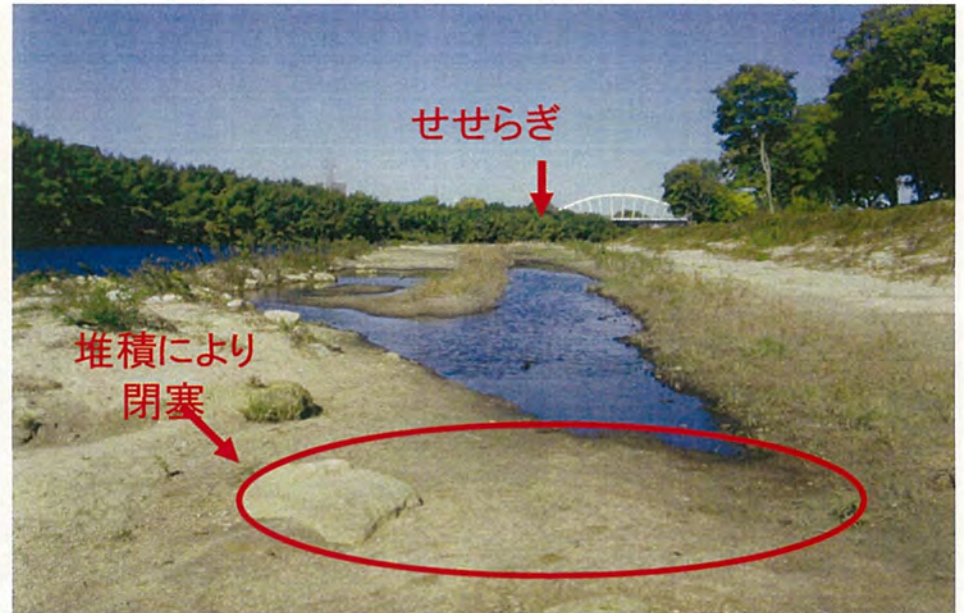
施工箇所を上流から撮影



# 台風18号後のせせらぎの状況(11月23日撮影)



# 台風18号後のせせらぎの状況(11月23日撮影)





### 中学校対象公開授業 第6限の御案内

愛知県立豊田東高等学校は、特徴的な教育として「環境教育」、「国際理解教育」、「地域連携教育」に力を入れています。これらの活動が評価され、昨年度、ユネスコスクール（海外では ASPnet と呼ぶ）に認定されました。ユネスコスクールは、持続可能な社会をつくるための教育（ESD）を推進する拠点校として位置づけられています。来年のちょうどいま、愛知県名古屋市と岡山県で ESD に関する国際ユネスコ会議が開催されることが決まっていますが、本校は、中部地域のユネスコスクール代表として、世界 34 か国の高校生とディスカッションをする予定です。

今年度から、意識的に ESD の観点を取り入れた教育活動を各教科で実践していますが、その特徴が色濃く表れているのが、第1学年で実施される「産業社会と人間」と第2学年、第3学年で実施される「総合的な学習の時間」です。

本日の第6限は、1年生が「産業社会と人間」の授業で「環境教育」に関する内容を、また、2年生が「総合的な学習の時間」の授業で「国際理解教育」に関する内容をそれぞれ実施する予定です。この機会に、豊田東高校の ESD を覗いてみてはいかがでしょうか？

以下に、本日の6限の授業の位置づけをそれぞれ簡単に紹介しておきます。

#### 第1学年「産業社会と人間」

##### 「地域環境研究」 場所：各教室

豊田東高校は、SPP（サイエンス・パートナーシップ・プロジェクト）を利用して、大学や地域の研究機関、NPO と連携した環境教育を継続的に実施しています。SPP では、身近な環境である矢作川に侵入した外来生物や、間伐遅れの人工林の問題など、地域に根ざしたテーマを取り上げているのが特徴です。SPP は2年生の「理プラン」が中心になって行っていますが、外部講師による講演会は全体で受けることが多く、また、1年生は全員で豊田東高の裏庭ともいえる矢作川河畔（子どもと川の出会いの場）に出かけて様々な活動を行っています。今年度は10月21日に全員で野外活動を行い、昨日の新聞記事にも取り上げられました（右ページ）。



昨年のグループディスカッションの様子

本日は、野外活動で体験したことを踏まえて、今後、この「裏庭」をどう管理していくかを話し合うグループディスカッションを行う予定です。この企画に御協力いただいている裕伸夫さん（NPO 法人矢作川森林塾代表）もふらりふらりと各教室の様子を覗いてくださるそうです。自分たちの環境は自分たちで創る……。未来に繋がる矢作川の在り方を、生徒が主体となって話し合います。



今年の野外活動の様子

### 矢作新報



## 五感教育の豊田東高校

NPO 法人矢作川森林塾の活動フィールドである矢作川河畔の矢作川河畔の自然環境を、10月21日の月曜午後、愛知県立豊田東高等学校（伊藤 善吉校長・生徒15人）の自然環境学習の野外活動があり、1年生を40人全員が参加した。総合学科の同高校では「持続可能な社会」をつくるための教育を推進しており、矢作川での体験野外活動もその一環。今年が年見。

### 第六感も芽吹く予感

を結んでいる田土交通通商 岡崎出張所の職員、豊田 市矢作川河畔の研究所の職員が指導した。河畔林で実ったクルミ採取も新鮮

多かつたが、次第にアイランドでの環境保全の楽しみや意義が理解でき、有意義な野外授業となった。参加した中垣早貴さんは「クルミの採りかたは、東高には無理の部活動や科目選択プランがあるので、クルミを使ったパンの食感にも興味



ツバキの実がたくさん採れました！



伐採した竹の除去作業

## 学校裏の矢作川も教育現場

本日の芽が強く芽吹くように、参加した高校生からも新しい「第六感」が芽吹きを感じた。豊田東高校は今回の活動現場のすぐ隣地にある、矢作川の水辺が高校生の地域実践活動教育の場として有効に活用されるものと期待される。NPO・NPO 法人矢作川森林塾理事長 裕伸夫

## 高校生の野外学習をお手伝い ～身近な自然環境をテーマにした地域環境研究～

豊橋河川事務所では、愛知県立豊田東高等学校の第1学年が取り組んでいる「産業社会と人間」の授業について、昨年からの講演会及び野外学習の活動を支援しています。  
豊橋河川事務所が管理している矢作川の御立地区では、市民・行政・研究者が一体となった協働管理を取り組んでいます。豊田東高校では身近な自然をテーマに地域環境研究を実施しており、学校と隣接しているこの地区において野外学習を実施しました。

### ◆講演会 日時：平成25年10月17日

講演会では第1学年6クラス(240人)を対象に、協働管理の中心となっているNPO法人矢作川森林塾の塾理事長と、矢作川を管理している豊橋河川事務所の岡崎出張所が講演を実施しました。



NPO法人矢作川森林塾の塾理事長の講演の様子



講演を熱心に聞き入る豊田東高校1年生

講演では豊橋河川事務所の岡崎出張所が平成23年度に実施した、御立地区の河道掘削工事で地域住民の意見を計画・施工に反映した工事の概要と、完成からこれまで取り組んできた「順応的的管理」についての経過を説明しました。  
総理事長からは『市民主導の官民協同活動で自然を造る』をテーマに「無からの自然への再生」への挑戦としての、NPO法人矢作川森林塾の取組と、また自然を造るチャレンジの過程から、自然を愛し・自然の摂理を理解する心から生まれる、仲間との「感動の共有」・「感動の絆」が生まれるとして、『自分からできる事から行動しよう』と聴講生のみなさんに訴えました。

## 高校生の野外学習をお手伝い ～身近な自然環境をテーマにした地域環境研究～

### ◆野外学習 日時：平成25年10月21日

野外学習では第1学年240人を30班(1班8人)に編成し、NPO法人矢作川森林塾・豊田市(矢作川研究所)・豊橋河川事務所の職員と一緒に、外来植物の除去・実生植物のラベリングなどの野外学習を実施しました。



NPO矢作川森林塾の塾理事長のあいさつ



実生植物のラベリング(観察)の様子



矢作川研究所の指導による水生生物調査の様子



台風16号による漂着物の回収・竹の運搬の様子



オニグルミツバキ等の実の採取(実習教材に使用)



御立植物図鑑を用いた外来植物の駆除の様子

野外学習では、豊田東高校から徒歩により御立地区に集合しました。順応的管理をしてきた「せせらぎ」や「池(湧水池)」が台風16号の出水による影響で大きく変貌しましたが、河川環境への取組として外来植物や漂着ゴミ等の除去、NPO法人矢作川森林塾が作成した御立地区の植生図鑑を用いて、実生植物のラベリングや「せせらぎ」での水生生物の調査を実施しました。

2年目を迎えた今回の取組は、豊橋河川事務所と地元NPO団体が支援し豊田東高校が行う『地域環境研究』として、矢作川アダプト(協働管理)制度と融合して、河川環境の良好な維持管理と学校教育とが融合した取組に発展してきています。